

2026年5月20日

## 2026年 ゴールデンウィーク集客動向調査

～雨に降られるも集客の取組みが寄与し、前年比+11.4%と好調～

静岡経済研究所（理事長 馬瀬和人）では、「2026年 ゴールデンウィーク集客動向調査」の結果をとりまとめましたので、その内容をお知らせします。

### 調査結果の概要

1. 今年のゴールデンウィーク期間中（4月25日～5月6日：12日間）、静岡県内各地で行われたイベントや主要施設（266カ所）は延べ885.8万人を集客、集計期間が1日短かった前年（795.3万人）から+11.4%増加した。
2. 前半は連続で休みにくい日並びだったが、後半は5連休で出かけやすかった模様。物価高がマイナスに作用したとの声もあるが、イベントや施設では、ホームページやSNSを使って情報発信に注力したほか、体験型イベントが数多く開催された。
3. カテゴリー別の集客動向は、以下の通り。
  - ①イベント（19先） 271.4万人（前年比+ 0.7%）  
～雨に加えて、花の見頃が合わずに伸び悩み～
  - ②交流拠点・商業施設（66先） 427.5万人（前年比+18.9%）  
～来訪者に合わせた企画が集客にプラス～
  - ③歴史・文化・自然観光（103先） 98.1万人（前年比+ 6.5%）  
～既存の人気コンテンツが集客を支える～
  - ④アクティビティ・娯楽施設（78先） 88.8万人（前年比+20.8%）  
～子ども向けの設備や企画が集客をけん引～

※本件のお問合せ先 富田 洋一

# 2026年ゴールデンウィーク集客動向調査

～雨に降られるも集客の取組みが寄与し、前年比+11.4%と好調～

■今年のゴールデンウィーク期間中（4月25日～5月6日：12日間）、静岡県内各地で行われたイベントや主要施設（268カ所）は延べ885.8万人を集客、集計期間が1日短かった前年（795.3万人）から+11.4%増加した。

■前半は連続で休みにくい日並びだったが、後半は5連休で出かけやすかった模様。物価高がマイナスに作用したとの声もあるが、イベントや施設では、ホームページやSNSを使って情報発信に注力したほか、体験型イベントが数多く開催された。

## ■カテゴリー別の集客動向

- イベント（19先） 271.4万人（前年比+ 0.7%）  
～雨に加えて、花の見頃が合わずに伸び悩み～
- 交流拠点・商業施設（66先） 427.5万人（前年比+18.9%）  
～来訪者に合わせた企画が集客にプラス～
- 歴史・文化・自然観光（103先） 98.1万人（前年比+ 6.5%）  
～既存の人気コンテンツが集客を支える～
- アクティビティ・娯楽施設（78先） 88.8万人（前年比+20.8%）  
～子ども向けの設備や企画が集客をけん引～

### 2026年のGWの人出は延べ885.8万人 前年に比べて1日多く+11.4%の増加

今年のゴールデンウィーク（以下、GW）は、4月25日（土）～5月6日（水）の12日間で、前年〔4月26日（土）～5月6日（火）の11日間〕より1日長かった。前半は、“昭和の日”の前後2日間が平日で連続して休みにくかったが、後半は5連休で出かけやすい日並びであった。天候は、終日雨が降った4月30日以外にも、短時間雨に降られた日が6日もあり、すっきりしない空模様だった（図表1）。

こうした状況下で、今年のGW期間中の静岡県内の主なイベントや施設266カ所の集客数は延べ885.8万人で、前年に比べて+11.4%増加した（詳細は27頁、図表7参照）。

イベントや施設単位で見ると、期間が前年より1日長かったこともあり、前年と比較可能な249カ所のうち155カ所（62.2%）で前年比増となっ

た。雨に降られた日が半分以上を占め、イベントや屋外施設からは苦戦したとのコメントもみられたが、集客に向けた取組みが効果を上げたところも多かった。

### 物価高はマイナスに作用したが 曜日配列や独自の取組みで集客

まず、集客に影響を与えた事象をみていく。プラスに作用した事象としては、「自施設の取組み」が41.9%で最も多く、子供向けのショーや体験型イベント、マルシェでの地元食材の販売など、来場者のニーズに合わせた企画が奏功したとみられる（図表2）。次いで、後半が5連休となった「曜日配列」が40.7%、気温が平年より1度ほど高かった「天気・気温」が38.2%、ホームページやInstagramなどを利用した「メディアやSNSの露出」が37.0%で続いており、イベントや施設の能動的な取組みが集客増に貢献していることがうかがえる。

図表1 2026年ゴールデンウィークにおける静岡市内の日中の天気

4/25(土)	26(日)	27(月)	28(火)	29(水)	30(木)	5/1(金)	2(土)	3(日)	4(月)	5(火)	6(水)

資料：気象庁ホームページをもとに当所作成

一方で、マイナスの作用が大きかった事象は、「物価高」が45.4%で突出して多い。ガソリン高や宿泊料金の値上げは遠方からの来静意欲を削いだり、土産品等の値上げが売上に響いたりしたとみられる。次いで、GW前から雨予報が出ていた「天候・気温」が31.3%、中東情勢などに象徴される先行き不安から「国内外の政治・経済の動き」が22.7%で続くなど、個々のイベントや施設では対処が難しい外的事象が上位に入った。

また、前年と比べた来訪者の増減をみると、来訪者の居住地に関係なく「変化なし」が半数前後を占めて最も多い(図表3)。ただ、いずれの区分も「増加した」が「減少した」を大きく上回っており、なかでも東部地域は、県外からの来訪者が「増加した」との回答が5割を超え、広域から集客できたとみられる。

**西部は浜松まつりの一部中止で微減も  
東部・中部は集客策が奏功して2桁プラス**

県内3地域を比べると、西部地域は、期間中の最大イベントの「浜松まつり」において、大河ドラマ「豊臣兄弟!」の出演者による“家康公パレード”で観客を集めたものの、5月3日夜の“御殿屋台引き回し”が雨で中止となったことで、3日間の集客数は延べ241.3万人と前年(249.3万人)を下回り、西部地域全体では361.1万人(前年比△0.2%)の微減となった。東部地域は、天候の影響を受けたところもあったが、来訪者のための企画が集客アップに結び付き、全体では257.8万人と同+10.6%の増加となった。中部地域は、イベントや商業施設が集客数を大きく伸ばしたことから、266.8万人と同+33.7%の大幅プラスとなった。

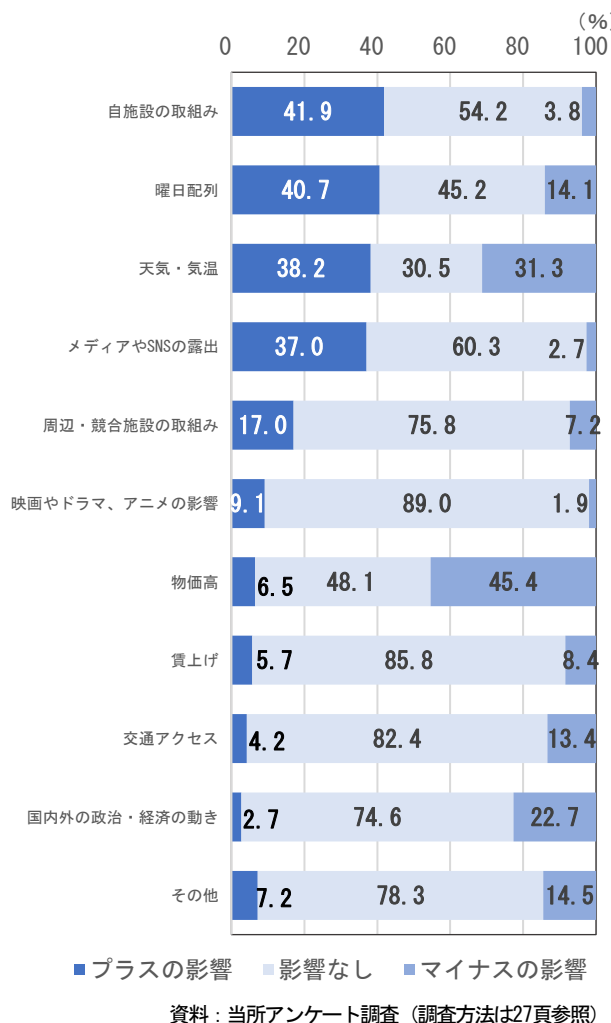
続いて、イベントや施設を4つのカテゴリーに分類して集客の動向をみていく。

**1. イベント(19先)**

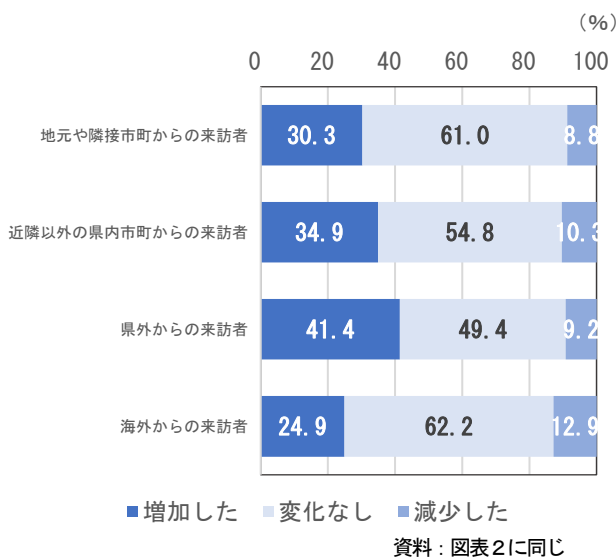
**[ 人出 271.4万人 前年比+ 0.7% ]**  
~雨に加えて、花の見頃が合わずに伸び悩み~

県内の主要なイベントの集客数は271.4万人で、前年に比べて+0.7%の微増だった。「浜松

**図表2 集客に影響を与えた事象**



**図表3 前年と比べた来訪者の変化**



図表4 静岡県内のGWの集客数5万人以上のイベント・施設

	イベント・施設名	所在地	集客人数	前年比		イベント・施設名	所在地	集客人数	前年比
1	浜松まつり	浜松市	241.3万人	△3.2%	8	富士山本宮浅間大社 流鏝祭	富士宮市	9.5万人	+11.8%
2	遠鉄百貨店	浜松市	37.8万人	+14.3%	9	浜名湖ガーデンパーク	浜松市	9.3万人	+7.4%
3	ラスカ熱海	熱海市	28.0万人	+8.6%	10	道の駅 そらっと牧之原	牧之原市	6.9万人	—
4	道の駅 富士川楽座	富士市	16.1万人	+9.7%	11	焼津さかなセンター	焼津市	6.1万人	△13.3%
5	イオンタウン富士南	富士市	13.5万人	+6.4%	12	KADODE OOIGAWA	島田市	5.2万人	+0.0%
6	道の駅 ゲートウェイ函南	函南町	10.8万人	+9.8%	13	三島スカイウォーク	三島市	5.1万人	△4.7%
7	道の駅 伊東マリンタウン	伊東市	10.5万人	+8.0%	14	アクトシティ浜松	浜松市	5.0万人	△1.6%

注 データの公表が可能なイベント・施設のみを掲載した

資料：図表2に同じ

まつり」（浜松市、241.3万人）が雨の影響で前年比△3.2%下回ったほか、事前の雨予報で客足が鈍った屋外イベントもあった（図表4）。また、3～4月にかけて温暖な日が多かったことで、GWに見頃を迎えるフジやツツジがピークを過ぎてしまい、「姫の沢公園花まつり」（熱海市、1.1万人）は同△47.0%の大幅なマイナスだった。一方で、富士山本宮浅間大社の「流鏝馬祭」（富士宮市、9.5万人）は同+11.8%だったほか、「春のあたまビールまつり」（熱海市、2.3万人）は同+4.5%と、集客を伸ばしたイベントもあった。

## 2. 交流拠点・商業施設（66先）

**[ 人出 427.5万人 前年比+18.9% ]**  
～来訪者に合わせた企画が集客にプラス～

交流拠点・商業施設の集客数は427.5万人で、前年を+18.9%上回った。

### 屋内交流施設（34先）は前年比+12.6%

屋内交流施設の集客数は44.9万人（前年比+12.6%）だった。県内テレビ局のイベントが重なった「ツインメッセ静岡」（静岡市、4.0万人）が前年比+28.3倍の大幅増加だったほか、「日本平夢テラス」（静岡市、2.9万人）は、富士山が見えた日が多かったことやラウンジの新メニューが好評で、集客数は同+48.9%伸長した。

一方で、前年に40周年イベントで盛り上がった「焼津さかなセンター」（焼津市、6.1万人）は

反動もあって前年を△13.3%下回った。

### 道の駅（21先）は前年比+19.9%

道の駅の集客数は68.5万人（前年比+19.9%）だった。「そらっと牧之原」（牧之原市、6.9万人）と「ゆとりえせとや」（藤枝市、0.8万人）が開業後初のGWを迎え、県内外の道の駅ファンで賑わった。また、地元の特産品を購入できることから、タケノコや山菜など旬の食材を買い求める地元客も多く、比較可能な20施設のうち19施設で前年を上回った。

### 大型商業施設（11先）は前年比+19.6%

大型商業施設の集客数は314.1万人（前年比+19.6%）で、比較可能な10施設中9施設で前年を上回った。GW前半は盛上りを欠いたが、後半はさまざまな催事に買い物客が押し寄せた。「イオンタウン富士南」（富士市、13.5万人）では、男性アイドルグループのインスタライブを複数回行い、推しの女性ファンが県内外から訪れ、前年比+6.4%の増加となった。また、観光客が多い「ラスカ熱海」（熱海市、28.0万人）では5月3日から5日までの閉店時間を通常よりも1時間延長したこともあり同+8.6%上回った。今春、メインのテナントが入替わった、静岡市のイオンセントラルスクエア静岡や、浜松市のメガセンタートライアル浜北店では、オープン効果も相まって、GW期間中は開店直後から多くの買い物客で賑わった。

### 3. 歴史・文化・自然観光 (103先)

[ 人出 98.1万人 前年比+ 6.5% ]

～既存の人気コンテンツが集客を支える～

歴史・文化・自然観光の集客数は98.1万人で、前年比+6.5%の増加となった。

#### 歴史・文化・ミュージアム (66先) は前年比+6.4%

歴史・文化・ミュージアムの集客数は44.0万人(前年比+6.4%)だった。「静岡市歴史博物館」(静岡市、1.1万人)は、地元静岡を代表する戦国武将・今川義元の父“没後五〇〇年 戦国大名 今川氏親”の企画展に加え、天井からの鯉のぼりの吊下げや、兜を試着して写真撮影ができるブースを設置するなど、端午の節句を意識した演出で、前年比+15.3%の集客増となった。同様に、本来の展示や企画に加えて、地場製品の販売や子供向けイベントなど、GWの家族客を想定した取り組みを行った施設で集客数が伸びた。

#### 自然・景観スポット (20先) は前年比+18.0%

自然・景観スポットの集客数は17.6万人(前年比+18.0%)だった。天候の影響で前年を下回ったところもあったが、自然を堪能する企画で集客を伸ばしたスポットもあり、明暗が分かれた。

「環境省田貫湖ふれあい自然塾」(富士宮市、0.5万人)では、Instagramを使った情報発信によって、有料のカヌー体験や洞窟探検が後半5連休は毎日定員に達し、集客数は前年比+3.6%と底堅い動きをみせた。

#### 動・植物園・水族館 (17先) は前年比+1.8%

動・植物園・水族館の集客数は36.4万人(前年比+1.8%)で、17施設のうち13施設が前年を上回った。雨の影響もあったが、人気の動物や植物は安定した集客力をみせた。前年、駐車場を完全予約制にしたことで来園者が減少した「静岡市立日本平動物園」(静岡市、3.1万人)は、駐車場の予約を時間単位に変更するとともに、開園時間を1時間早めることで混雑の平準化に取り組み、集客数は前年比+22.8%と大きく増えた。一方で「はままつフラワーパーク」(浜松市、3.9万人)は、目玉であるフジの花がGW前にピークを

迎えてしまい、天候に恵まれなかったこともあり、前年を△30.3%下回った。

### 4. アクティビティ・娯楽施設 (78先)

[ 人出 88.8万人 前年比+20.8% ]

～子ども向けの設備や企画が集客をけん引～

アクティビティ・娯楽施設の集客数は88.8万人で、前年比+20.8%の増加となった。

#### 屋外レジャー施設 (32先) は前年比+17.1%

屋外レジャー施設の集客数は35.2万人(前年比+17.1%)だった。子供向けの大型遊具を拡充させた「長伏公園」(三島市、1.8万人)は家族客で賑わい、前年比+9.9倍と大きく伸びた。「富士山こどもの国」(富士市、2.6万人)では、Webチケットを導入したことが話題となり、集客数を同+8.1%伸ばした。一方で、キャンプ場は事前に雨予報が発表されていたことや、キャンプ人気落ち着き始めたこともあり、15施設のうち11施設で前年を下回った。

#### スポーツ施設 (20先) は前年比+54.4%

スポーツ施設の集客数は26.0万人(前年比+54.4%)だった。期間中に清水エスパルスの公式戦が3試合行われた「IAIスタジアム日本平」(静岡市、4.7万人)が前年比+110.2倍(前年は地元での試合開催なし)と大幅に増加したほか、2試合が行われた藤枝MYFCの本拠地「藤枝総合運動公園」(藤枝市、2.6万人)は前年を+73.4%上回り、集客数を押し上げた。また、多くのスポーツ施設では、こどもの日に合わせて施設を無料で開放したところが多く、集客数の増加に寄与した。

#### 温泉施設・娯楽施設 (26先) は前年比+3.7%

温泉施設や娯楽施設の集客数は27.6万人(前年比+3.7%)だった。雨の影響を受けにくく、26施設のうち15施設が前年を上回った。温泉施設では、端午の節句に合わせて“菖蒲湯”を企画し好評だったほか、「用宗みなと温泉」(静岡市、0.7万人)は、地元・用宗が舞台になったテレビアニメにCMを出すなどアピールに努めたことで、集客数は前年を+7.6%上回った。

### ホームページやInstagramは 5割前後が集客効果を実感

最後に今年のGWについて、項目別の売上高の変化と、集客効果が実感できた情報発信手段についてみていく。

まず、売上高の変化については、項目によって大きな差は見られず、「変化なし」が全体の5割強を占め、「増加した」は3割強だった。値上げによる売上低下を指摘するコメントもあったが、多くのイベントや施設では、各項目で前年に匹敵する売上高を確保できた。

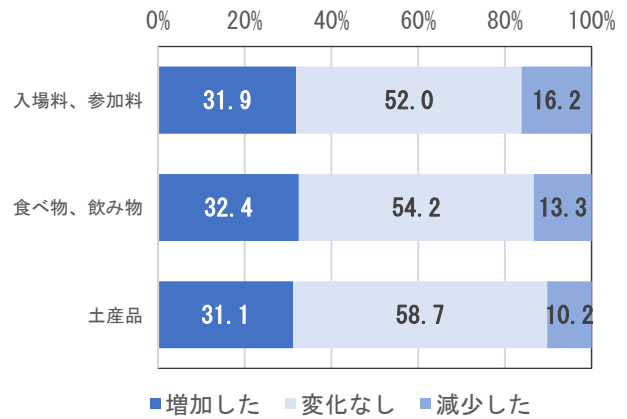
続いて、今年、集客に有効と実感した情報媒体に関しては、「ホームページ」が58.1%で最も多く、「Instagram」が52.9%で続いた。これまで主力だったマスメディア（テレビ、ラジオ、新聞等）は2割を下回り、インターネットを介した情報発信が上位を占めた。イベントや施設の運営者や主催者側だけでなく、それら興味・関心を持った来訪者側も情報発信できるため、インターネット上での拡散力が集客効果を増幅させる一因となっているようだ。

以上、2026年のGW期間中の集客動向をみると、前年よりも1日長かったことがプラスに働いたほか、さまざまな集客努力でイベントや施設の6割が前年を上回り、全体でも前年を+11.4%上回った。そうした中で、回答者のコメントには、物価高を受けて“費用をかけず、近場で、短期間で楽しむ”「安・近・短」の傾向を指摘する声もあった。

また今年は、例年にない気象の変化が集客に影響を及ぼした。気温の上昇では、フジやツツジの見頃が前倒しとなって時期を逸した一方で、春バラは見頃が早まりタイミングが合致して明暗を分けた。海では、シラスが不漁で企画変更を強いられたイベントもあったが、サクラエビは豊漁で多くの観光客で賑わった。このほか、新施設の完成やテナント入替えて注目を集め、集客数を大きく伸ばした施設もあった。

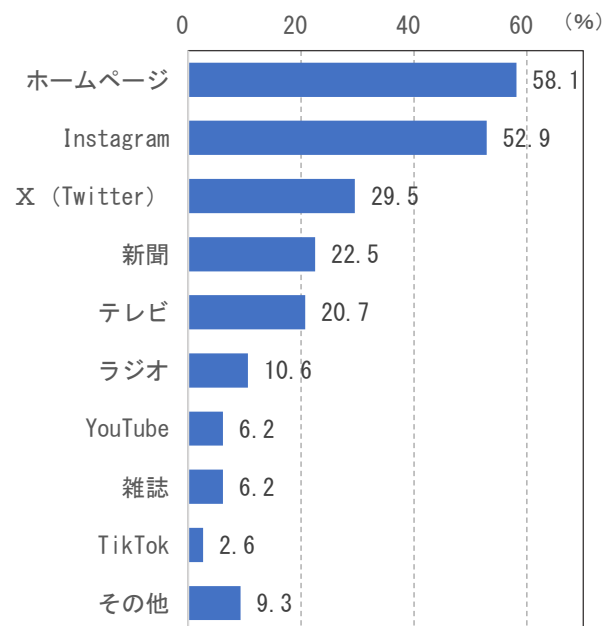
全体の共通点を探ると、子どもや家族客をターゲットにした体験型イベントを実施したところは軒並み集客数を伸ばしており、有料の体験イベントでも早期に満員になるケースがあった。来訪者はSNSを駆使して情報を収集し、コスパやタイパの高いイベントなどを選択している。“推し活”に象徴される、好きなことには出費を惜まない嗜好も広がっているだけに、来年もターゲットを絞った個性的な企画を実施することでGWを盛り上げ、多くのイベントや施設で集客数を伸ばすことが期待される。

図表5 部門別売上高の変化



資料：図表2に同じ

図表6 集客効果を実感した情報媒体



資料：図表2に同じ

図表7 2026年GW 静岡県内のイベント、施設の集客数

イベント、施設名	所在地	集客数 (人)	前年比
ラスカ熱海	熱海市	279,679	+ 8.6%
道の駅 富士川楽座	富士市	161,073	+ 9.7%
イオンタウン富士南	富士市	134,563	+ 6.4%
道の駅 伊豆ゲートウェイ函南	函南町	108,148	+ 9.8%
道の駅 伊東マリンタウン	伊東市	104,870	+ 8.0%
富士山本宮浅間大社 流鏝馬祭	富士宮市	95,000	+11.8%
三島スカイウォーク	三島市	50,500	△ 4.7%
富士山樹空の森	御殿場市	36,357	△ 4.8%
伊豆シャボテン動物公園	伊東市	35,205	+ 4.2%
白糸ノ滝	富士宮市	32,709	+15.1%
富士山こどもの国	富士市	25,646	+ 8.1%
ながはま特設市	熱海市	25,237	+ 1.8%
三島市立公園 楽寿園	三島市	23,042	+12.5%
春のあたまビール祭り	熱海市	23,000	+ 4.5%
小室山公園つつじ観賞会	伊東市	21,400	+39.0%
みどりまつり	沼津市	21,000	—
沼津 みなと新鮮館	沼津市	19,209	+11.0%
道の駅 開国下田みなと	下田市	18,307	+ 5.2%
長伏公園	三島市	17,773	+ 9.9倍
こいのぼりフェスティバル	沼津市	17,600	—
伊豆アニマルキングダム	東伊豆町	14,383	+ 6.0%
静岡の国サイクルスポーツセンター	伊豆市	14,051	△ 8.3%
道の駅 富士	富士市	13,738	+ 9.0%
田貫湖キャンプ場	富士宮市	10,643	△18.0%
姫の沢公園花まつり	熱海市	10,552	△47.0%
御胎内温泉健康センター	御殿場市	10,278	+ 5.4%
静岡県富士山世界遺産センター	富士宮市	10,240	+ 5.9%
みどりまつり	裾野市	9,749	+34.1%
奏の森リゾート	伊東市	9,142	+90.1%
香陵アリーナ	沼津市	8,854	△ 0.1%
修善寺 虹の郷	伊豆市	8,394	△18.9%
ウエルピアながいずみ	長泉町	6,378	+ 2.3倍
起雲閣	熱海市	5,802	+43.7%
熱海海上花火大会	熱海市	5,500	—
環境省田貫湖ふれあい自然塾	富士宮市	5,032	+ 3.6%
<b>東部地域その他 77カ所</b>		<b>1,185,095</b>	<b>—</b>
<b>東部地域合計</b>		<b>2,578,149</b>	<b>+10.6%</b>
道の駅 そらっと牧之原	牧之原市	69,000	—
焼津さかなセンター	焼津市	61,448	△13.3%
KADODE OOIGAWA	島田市	52,388	+ 0.0%
IAスタジアム日本平	静岡市	46,722	+110.2倍
清水魚市場 河岸の市	静岡市	46,049	+ 5.2%
ツインメッセ静岡	静岡市	40,294	+28.3倍
シネシティ ザート	静岡市	39,964	+13.5%
草薙総合運動場	静岡市	35,981	+47.2%
グランシップ	静岡市	31,893	△10.7%

イベント、施設名	所在地	集客数 (人)	前年比
静岡市立日本平動物園	静岡市	31,216	+22.8%
日本平夢テラス	静岡市	29,227	+48.9%
みほしるべ	静岡市	28,756	+ 9.0%
藤枝総合運動公園	藤枝市	26,404	+73.4%
久能山東照宮	静岡市	21,420	△ 2.1%
静岡競輪場	静岡市	20,463	△ 4.7%
静岡市歴史博物館	静岡市	11,384	+15.3%
静岡市立登呂博物館	静岡市	10,080	△ 5.2%
ディスカバリーパーク焼津天祥館	焼津市	10,033	△ 1.1%
大井川港朝市	焼津市	10,000	—
道の駅 川根温泉	島田市	9,325	+15.7%
道の駅 ゆとりえせとや	藤枝市	8,294	+22.9%
西ヶ谷総合運動場	静岡市	7,486	+14.6%
用宗みなと温泉	静岡市	7,333	+ 7.6%
ふじのくに茶の都ミュージアム	島田市	7,001	△ 5.2%
清水総合運動場	静岡市	5,623	+27.0%
静岡県立美術館	静岡市	5,544	△68.0%
<b>中部地域その他 58カ所</b>		<b>1,994,770</b>	<b>—</b>
<b>中部地域合計</b>		<b>2,668,098</b>	<b>+33.7%</b>
浜松まつり	浜松市	2,413,000	△ 3.2%
遠鉄百貨店	浜松市	378,012	+14.3%
浜名湖ガーデンパーク	浜松市	93,402	+ 7.4%
アクティビティ浜松	浜松市	50,050	△ 1.6%
道の駅 潮見坂	湖西市	43,330	+ 1.9%
はままつフラワーパーク	浜松市	38,906	△30.3%
浜松市動物園	浜松市	27,373	△ 4.4%
ボートレース浜名湖	湖西市	22,478	△11.1%
静岡県立森林公園	浜松市	19,000	+ 0.0%
浜松オートレース場	浜松市	18,491	+24.3%
航空科学館 エアパーク	浜松市	17,581	+15.8%
渚の交流館	磐田市	15,720	+14.1%
浜松城	浜松市	14,994	+ 7.9%
浜松子ども館	浜松市	11,779	+ 5.6%
道の駅 風のマルシェ御前崎	御前崎市	11,430	+10.6%
浜名湖体験学習施設ウォット	浜松市	10,441	+ 6.4%
竜ヶ岩洞	浜松市	10,164	△ 1.7%
掛川城	掛川市	9,807	+ 6.0%
とよおか採れたて元気むら	磐田市	7,172	+17.6%
SOLA SPA 浜北温泉	浜松市	7,080	△29.5%
浜松市総合水泳場ToBio	浜松市	6,782	+ 4.7倍
浜松市美術館	浜松市	5,901	+ 6.8倍
道の駅 いっぶく処横川	浜松市	5,839	△ 5.3%
浜松まつり会館	浜松市	5,406	△ 1.1%
ならこの里キャンプ場	掛川市	5,027	—
<b>西部地域その他 45カ所</b>		<b>1,994,770</b>	<b>—</b>
<b>西部地域合計</b>		<b>3,611,460</b>	<b>△ 0.2%</b>
<b>静岡県合計</b>		<b>8,857,707</b>	<b>+11.4%</b>

注1. データの公表が可能で集客数が5,000人以上のイベント・施設のみを掲載した  
 注2. 各地域の最下部には、集客数5,000人未満およびデータの公表を不可としたイベント・施設の集客数を合算した値  
 注3. 集客数の合計値は、今年回答があったイベント・施設（新たなイベント・施設を含む）の266先の値  
 調査方法：GW期間中に集客が見込まれるイベント・施設など、559先に調査票を送付、266先から回答を得た（有効回答率：47.6%）